

10 食物アレルギー緊急時の対応マニュアル表

管理・責任者 校長

「緊急時対応マニュアル」に基づいた適切かつ迅速な対応を指示する。

教 頭

校長の指示のもと、「緊急対応マニュアル」に基づく対応が適切かつ迅速に行われるように職員に指示し、確認する。また、救急車を要請した場合は、関係機関（教育委員会等）に連絡する。

発見者（担任 他職員数名） 学校内での役割分担

アレルギー症状がある

原因食物を食べた。（可能性）

原因食物に触れた。（可能性）

- ① 子供から目を離さない。一人にしない。（観察を行う）
- ② 助けを呼び、人を集める。（大声または、他の子供に近くの人を呼びに行かせる）
- ③ エピペンと、内服薬を持ってくるよう指示する。（駆けつけた教員、職員） 場合によっては、心肺蘇生や AED の使用を行う。

緊急性が高いアレルギー症状はあるか。
（5分以内に準備する）

な い

教員・職員 A 「準備」（養護教諭・担任）

- ① 「食物アレルギー緊急時対応マニュアル表」を持ってくる。
- ② エピペンの使用または介助 *エピペンの使い方
- ③ その場で安静にする。
- ④ 可能なら内服薬を飲ませる。

教員・職員 B 「連絡」（給食担当）

- ① 救急車を要請する。119番通報
- ② 校長・教頭・教務主任に連絡
- ③ 保護者への連絡

教員・職員 C 「チェックシート」（教頭）

- ① 観察を開始した時刻を記録
- ② エピペンを使用した時刻を記録
- ③ 内服を飲んだ時刻を記録
- ④ 5分ごとに症状を記録

・内服薬が必要であれば、飲ませる。

・保健室、または、安静にできる場所に移動する。

5分ごとに症状を観察し、症状チェックシートに従い、判断し、対応する。緊急性の高いアレルギー症状の出現には、特に注意する。

教員・職員 D～F （教務主任・他職員）

- ① 他の子供への対応
- ② 救急車の誘導
- ③ エピペンの使用又は介助 *エピペンの使い方
- ④ 心肺蘇生や、AED の使用